

## 令和元年度 相模向陽館高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

### ○ 項目・目標別実施結果

| 項目                              | 目標                              | 実施結果と目標の達成状況  |
|---------------------------------|---------------------------------|---|
| ①法令遵守意識の向上                      | 公務員としての自覚を持った行動の徹底              | ・教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を全職員で活用し、繰り返すことで職員の意識啓発と事故の未然防止に努め、意識が向上した。   |
| ②セクハラ、わいせつ行為                    | 基本的人権に配慮したセクハラ・わいせつ行為の防止        | ・事故防止会議を活用し、授業や面談での生徒への発言について注意喚起し、意識啓発に取り組んだ結果、意識も向上した。  |
| ③体罰、不適切指導の防止                    | 体罰・不適切指導の未然防止                   | ・生徒への対応については寄り添いながらする場面が多いが、常に生徒との距離を保つことやこどば遣いを意識するよう繰り返し伝え、職員の意識も向上した。                                  |
| ④不適切経理処理の再発防止                   | 公費・私費会計の不適切な取り扱いの防止。適切な現金処理     | ・日ごろから管理職による帳票類チェックを徹底し不適切な会計処理がないよう意識向上を図った。財務事務調査の指摘事項についても職員会議で周知し、適正な会計執行に当たった。                       |
| ⑤個人情報等管理・情報セキュリティ               | 個人情報流失の未然防止。個人情報の適正使用           | ・個人情報の管理について、日ごろから声を掛け合いながら複数、複数回の点検や確認をこまめに行い事故の未然防止に努めた。  |
| ⑥交通事故防止、酒酔い酒気帯び運転防止             | 交通事故の未然防止。個人情報の適正使用             | ・啓発・点検資料や新聞報道記事等を活用した注意喚起を行い、教育公務員としての意識啓発に努めた結果、法令順守に基づいた適正な行動がとれた。                                      |
| ⑦業務執行体制                         | 非常事態への速やかかつ適正な対応                | ・引継ぎを意識した文書、資料の作成により担当が変わっても事故なく円滑に業務が行えるよう声掛けを繰り返した。   |
| ⑧外国につながる生徒・保護者との関係づくり           | 出身国（地域）の宗教や文化などの違いを理解し、適切に対応する。 | 各国の文化や宗教の学習や情報収集を行い、お互いを尊重する姿勢を作り上げることができた。保護者面談では通訳を付け、正確で、より深い理解や意思疎通ができた。                              |
| ⑨入学者選抜、成績処理及び進路関係書類作成・発行に係る事故防止 | 入学者選抜に関して適切な対応。情報管理             | ・入学者選抜業務において、業務ごとに複数回、複数人でのチェックの重要性を強調し、事故の未然防止に繋げた。<br>・卒業年次及びキャリア支援グループの職員を中心に点検やマニュアルの確認を行い、事故防止を徹底した。 |

### ○ 令和元年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び令和2年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

本校では、事故・不祥事を未然に防止するため、県教育委員会、行政課等の通知の周知徹底と資料等を活用した意識啓発、外部講師を招いての研修会の実施、またグループごとにビデオの視聴、意見交換や、日ごろの総括教諭による業務の進行管理などをおして、事故・不祥事のない職場体制づくりの推進と職員一人ひとりの意識の高揚に取り組んできた結果、事故・不祥事のない職場づくりが概ね達成できたと考えている。

令和2年度も職員数が多い中、当事者意識を持ち、何かあった場合には、自分だけではなく、クラスの生徒などにも影響を及ぼすことを意識して事故防止に取り組み、事故防止会議や職場研修の充実や工夫を図りながら「事故・不祥事ゼロ」の職場を目指していきたいと考えている。